

平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月14日

上場会社名 株式会社 ガイアックス 上場取引所 名証セントレックス  
 コード番号 3775 URL http://www.gaiax.co.jp  
 代表者 (役職名)代表執行役社長 (氏名)上田 祐司  
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)太田 賀子 (TEL)03(5759)0376  
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	951	△3.7	17	△21.3	23	△24.4	19	△88.8
24年12月期第1四半期	987	22.0	22	△39.2	31	△15.9	172	101.4

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 19百万円(△88.5%) 24年12月期第1四半期 172百万円(98.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	820 72	786 75
24年12月期第1四半期	7,184 59	- -

(注) 当社は平成24年7月1日に1株につき1.3株の割合で株式分割を行っております。これにより、1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	1,674	379	21.6
24年12月期	1,704	327	17.2

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 361百万円 24年12月期 293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	- -	0 00	- -	0 00	0 00
25年12月期	- -				
25年12月期(予想)		0 00	- -	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,900	△1.8	△110～△10	-	△120～△20	-	△130～△30	-	△5,254 86 ～△1,212 66
通期	4,000	4.4	△50～50	-	△60～40	-	△70～30	-	△2,829 54 ～1,212 66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年12月期1Q	30,488株	24年12月期	30,488株
25年12月期1Q	5,749株	24年12月期	6,955株
25年12月期1Q	23,552株	24年12月期1Q	24,070株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は平成24年7月1日に1株につき1.3株の割合で株式分割を行っております。このため、期末発行済株式数 (自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数 (四半期累計) は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、昨年春以降悪化したものの、足許で底入れの動きがあり、海外景気も持ち直しに向かうとみられることから、回復が明確化する見込みです。

一方国内のインターネットビジネス市場は、デバイス、特にスマートフォンの普及に伴いスマートフォンアプリ市場の成長が著しく、市場規模は平成23年に82.2億円となり、平成25年が205.8億円(前年比147%)、そして平成28年には441.7億円の規模と拡大基調の予測がされており(※1)、弊社の主力事業である投稿監視サービス、ソーシャルアプリサポートにとっても、今後の市場発展が見込まれています。このような状況のもと、当社グループはソーシャルメディアの構築・運営・監視及びソーシャルアプリサポートのリーディングカンパニーとして、引き続き事業の拡大を図って参りました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、主力事業でありますソーシャルサービス事業においては、ソーシャルアプリサポートサービスの海外展開を推進してきたことにより、売上高15.3%増と売上を大きく伸ばしております。Facebook関連アプリについても常にバージョンアップを行い、顧客のニーズを早急に取り込む対策を行っており、アプリ利用件数増加とともに売上が増加しております。一方、受託開発事業については、新規案件の受注はあるものの既存顧客の納品が次期にずれ込み、売上高が昨年に比べ24.3%減少いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は951,606千円(前年同期比3.7%減)となりました。営業損益については、引き続き新サービスの開発投資、案件数増加に伴う人件費の増加及び人材育成・採用コスト等の増加により17,338千円(前年同期比21.3%減)の利益となりました。経常損益は、為替差益及び未払配当金除斥益により23,787千円(前年同期比24.4%減)の利益となり、四半期純利益は19,329千円(前年同期比88.8%減)の利益となりました。

出所 ※1矢野経済研究所「スマートフォンアプリ市場に関する調査結果 2012」

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (ソーシャルサービス事業)

##### 《法人向けソーシャルメディア活性化サービス》

Facebookに代表されるソーシャルネットワークやTwitterに代表される(マイクロ)ブログなど、企業によるソーシャルメディア活用のための企画提案・アプリケーション開発や、ガイアックスソーシャルメディアアラボによるソーシャルメディアの啓蒙活動などを実施

##### 《法人向けソーシャルメディア運用・監視サービス》

同ソーシャルメディアを企業が運営する上で、24時間体制での運営サポートや投稿監視サービスなどを、日本語及び英語を中心とした多言語にて提供

##### 《教育機関向けソーシャルリテラシーサービス》

学校裏サイトの監視やネットいじめ対策コンサルティングである「スクールガーディアン」や、若い世代の前向きなソーシャルメディア活用を推進するネットリテラシー講座などを提供

##### 《ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービス》

ソーシャルゲームに対するユーザー様からの問い合わせなどにつき、対応代行を24時間・多言語体制で行う「ソーシャルアプリサポート」を提供

《法人向けソーシャルネットワークサービス》

企業の社内コミュニケーションを有機的に活性化していくクラウド型社内SNS「エアリー」などを提供

《デジタルコンテンツサービス》

モバイル/スマホ向けコンテンツ配信「モバリスト」などを提供

当第1四半期連結累計期間におきましては、昨年度に引き続き《法人向けソーシャルメディア運用・監視サービス》及び《ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービス》の売上が順当に増加しております。ソーシャルアプリ・スマートフォンアプリ向けユーザーサポートは、一昨年の中国語・韓国語対応に加え、対象言語にフランス語・ドイツ語・イタリア語・スペイン語を追加、新たな市場拡大に対応して参りました。また、Facebook関連アプリについてもリニューアルを行い成果向上を図って参りました。

この結果、売上高については、607,779千円(前年同期比15.3%増)となり、営業損益は、63,338千円(前年同期比45.4%増)の利益となりました。

(受託開発事業)

受託開発事業におきましては、子会社の株式会社電縁が主力事業としております。当第1四半期連結累計期間の業績は、公共向けの大型システム開発案件やデジタルサイネージの新規案件の受注などの新たな受注があるものの、既存顧客からの継続案件の納品が次期にずれ込んだことにより売上高は359,308千円(前年同期比24.3%減)となり、前期に比べ減少いたしました。営業損益については、開発外注費及び人件費が嵩み利益が圧迫され△3,221千円(前年同期は16,725千円の利益)の営業損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.8%減少し、1,429,092千円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が89,403千円増加したこと及び現金及び預金が108,411千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.2%減少し245,706千円となりました。これは主に長期貸付金が6,168千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し1,674,798千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.8%減少し859,828千円となりました。これは、短期借入金が67,000千円増加したこと、支払手形及び買掛金が29,482千円、前受金が54,119千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて11.5%減少し435,494千円となりました。これは、主に長期借入金が35,991千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.9%減少し、1,295,322千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて15.9%増加し、379,476千円となりました。これは、利益剰余金が19,329千円増加したこと、ストックオプションの行使に伴い資本剰余金が12,767千円増加したこと及びストックオプション行使に伴う自己株式の処分により自己株式35,001千円が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

弊社を取り巻くインターネットビジネス市場は、スマートフォン向けのソーシャルメディアに代表されるLINEが、平成25年1月には世界の利用者数が1億人を突破するなど、成熟しつつも新たな成長期に入っています。このようなコミュニケーションツールや、ソーシャルゲームなどの新たなサービスは、急速なスピードで成長し、IT市場を牽引しています。

今後の見通しにつきましては、引き続きソーシャルメディアサービスに注力して参りますが、その一方で開発・人材採用、事業開発も行って参ります。現時点においては、平成25年2月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,019,829	911,417
受取手形及び売掛金	363,901	453,304
仕掛品	12,928	12,105
その他	62,758	56,428
貸倒引当金	△3,902	△4,163
流動資産合計	1,455,515	1,429,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	37,588	39,743
工具、器具及び備品(純額)	27,590	27,203
有形固定資産合計	65,178	66,946
無形固定資産		
ソフトウェア	7,885	6,969
のれん	15,895	14,305
その他	145	145
無形固定資産合計	23,926	21,421
投資その他の資産		
投資有価証券	24,562	25,568
長期預金	19,050	23,040
長期貸付金	29,665	23,496
敷金及び保証金	75,748	76,013
その他	22,709	24,228
貸倒引当金	△12,137	△15,008
投資その他の資産合計	159,599	157,338
固定資産合計	248,705	245,706
資産合計	1,704,220	1,674,798



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	135,974	106,492
短期借入金	165,000	232,000
1年内返済予定の長期借入金	182,464	169,964
1年内償還予定の社債	41,000	41,000
未払費用	147,747	140,664
預り金	27,832	25,513
未払法人税等	5,213	4,453
賞与引当金	—	25,425
その他	179,631	114,316
流動負債合計	884,863	859,828
固定負債		
社債	110,000	89,500
長期借入金	349,585	313,594
その他	32,400	32,400
固定負債合計	491,985	435,494
負債合計	1,376,848	1,295,322
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	377,540	390,308
利益剰余金	17,383	36,713
自己株式	△201,863	△166,861
株主資本合計	293,061	360,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	320
為替換算調整勘定	394	663
その他の包括利益累計額合計	405	984
新株予約権	33,904	18,323
少数株主持分	—	7
純資産合計	327,371	379,476
負債純資産合計	1,704,220	1,674,798

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	987,850	951,606
売上原価	644,967	569,965
売上総利益	342,882	381,641
販売費及び一般管理費合計	320,860	364,302
営業利益	22,021	17,338
営業外収益		
受取利息	424	267
助成金収入	9,461	—
為替差益	2,704	3,181
持分法による投資利益	—	664
未払配当金除斥益	—	4,690
その他	1,054	718
営業外収益合計	13,644	9,521
営業外費用		
支払利息	3,073	2,414
支払保証料	147	165
貸倒引当金繰入額	—	292
持分法による投資損失	792	—
その他	201	201
営業外費用合計	4,214	3,073
経常利益	31,452	23,787
特別利益		
投資有価証券売却益	88,745	—
持分変動利益	51,823	—
その他	3,114	—
特別利益合計	143,683	—
税金等調整前四半期純利益	175,135	23,787
法人税、住民税及び事業税	2,202	4,450
法人税等合計	2,202	4,450
少数株主損益調整前四半期純利益	172,933	19,336
少数株主利益	—	6
四半期純利益	172,933	19,329

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	172,933	19,336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	266	309
為替換算調整勘定	△294	270
その他の包括利益合計	△28	579
四半期包括利益	172,904	19,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172,904	19,908
少数株主に係る四半期包括利益	—	7

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

ストックオプションの行使による自己株式の処分に伴い、当第1四半期連結会計期間において新株予約権が15,581千円、自己株式が35,001千円減少し、資本剰余金が12,767千円増加しております。この結果、当第1四半期連結会計期間末において新株予約権は18,323千円、自己株式は166,861千円、資本剰余金は390,308千円となっております。